



教 成 館

関小だより

【学校教育目標】

- よく学び工夫する子ども
- 健康で明るい子ども
- きまりを守り、助け合う子ども
- 責任をもちやりぬく子ども

たくさんの温かいお心 ありがとうございます



この度は「能登半島地震被災地支援」のための募金にご協力いただきありがとうございます。募金総額は16万1903円となり1月25日に一関市共同募金会に渡しました。一関小学校の児童、保護者、職員

の温かい気持ちを被災地に届けていただきます。

年末に、募金を行ったばかりであったにも関わらず予想を大きく上回る募金額に、驚きと皆様の温かいお心への感謝の気持ちでいっぱいです。ボランティア委員会の子どもたちは3学期開始間もない時期に書き損じはがきの回収に続き、募金活動にも取り組んでくれました。

被災地では、地震発生から約1か月が経過しますが、連日ニュースで報道されており、多くの家屋が倒壊したままとなっており、未だ断水が続いている地域も多く、厳しい生活を余儀なくされています。そんな中でも、少しずつ登校が再開され、学校で元気に学ぶ子どもたちの姿に少しだけ、ホッとします。また、「後ろばかりを見てられない」と話す能登の皆さんは強いなと感じます。苦しい中でも前に進もうとしている能登の皆さんの日常が少しでも早く戻ることを願うばかりです。



【1月26日付 岩手日日新聞】

同事務所によると、募金は最終的に石川、富山の両県の被災地の行政活動に活用されるという。

菅原校長は「保護者の皆さんのご協力を頂きながら、児童が自分たちでできる支援活動に取り組んだ。子どもたちには自分たちの活動が誰かの喜びにつながるということを知ってもらえれば」と語っていた。

大谷グローブ体験実施中



一関小学校に届いた「大谷グローブ」を使った体験を先週から開始しました。まず初めの2日間は、普段から野球に取り組んでいる「一関ベアーズ」野球スポーツ少年団のメンバーが、レクタイムと昼休みに、キャッチボールをしてグローブの感触を確かめました。ボールは軟式野球ボールを使ったかところでしたが、体験場所がプール前のアスファルトでしたので、安全を考慮して公式テニスボール等数種類のボールを用意しました。軟式野球ボールより軽いためグローブに収まりにくいのではないかと心配していましたが、さすが普段からキャッチボールをしているベアーズの子どもたちは、上手にボールをキャッチしていました。3日目からは、6年生から5年生、4年生、3年生、2年生、1年生へと順番に、1日1学級ずつ体験を行っています。2月の授業参観日には、職員室前に再び展示する予定ですが、その頃には、子どもたちがたくさん使った後で、汚れてしまっているかもしれませんね

